

# ましみずの里

No. 7

R2. 6. 2

校長

海老洋一

～自ら学び ともに伸びる～ 自ら考え表現し合い・自ら開きわかり合い・自ら挑み高め合う子どもを育てます

学校が再開されてから1週間が経ちました。本校では昨日まで「児童と担任との面談」を実施し、一人一人の思いや願いをとらえながら、「なりたい自分」に向けてのめあてを立て、歩み始めました。山形県では昨日から、「県民に対する県境をまたぐ移動の自粛要請が解除」されました。県内では感染確認が27日連続ゼロとなっておりますが、ウイルスがなくなったわけではありません。本校ではこれからも引き続き、下記のように感染拡大防止に向けた「学校での新しい生活様式」を実践するよう努めてまいります。なお、裏面は文部科学省から昨日出された「新しい生活様式を踏まえた家庭での取組」のお知らせです。保護者の皆様には、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 本校の感染拡大防止対策

### ①健康観察

- ・1・5・6年生は教室の前、2・3・4年生は体育館で、健康観察を行っています。  
 <教室に入る前の健康観察が、感染予防の第一歩と捉えています・・当面の間>
- ・教室でも、健康観察をていねいに行います。
- ・具合が悪いような児童は、早めに保健室で確認し、家の人が来るまで相談室で待機しています。



### ②学習環境

- ・全児童・全職員、マスクを着用する。教職員は状況に応じてフェイスシールドも着用します。
- ・机を離し、密接しないように、前を向き、机をくっつけたグループ学習はしません。
- ・換気は、十分行います。気温により換気を調整し、低ければ、最低授業ごと換気します。
- ・教室に戻ってきた時は、手洗いをし、アルコールで手を消毒します。

### ③授業

- ・3密にならないように、常に目を配ります。(子供同士1m以上離れていることが望ましい。)
- ・実験・実習・実技を伴う学習では、少人数のグループとし、提示等は電子黒板等を活用します。
- ・体育は2m以上を確保し、運動します。1学期は、主に体づくり運動とします。
- ・音楽では歌唱指導は当面実施せず、器楽演奏等は児童の身体的距離を十分確保します。
- ・家庭科の調理実習は当面実施せず、その他の実習前後の手洗い、換気、消毒を徹底します。
- ・できるだけ学級単位(教室単位)(20人から30人前後)を保ち、学習する。
- ・複数学級のある1・2・4年生は、学年全体での学習は当面避けます。

### ④給食・清掃



- ・石鹸で手洗いをこまめに行い、消毒液で児童の机・給食配膳台を消毒するのは教員とします。
- ・登校後教室に入る前・給食前・清掃後は特に手洗いをしっかり行い、手指の消毒をします。
- ・給食は、グループにせず、全員前を向いて、話をしないで食べます。
- ・給食後、歯磨きは控え、口を簡単にゆすぐ程度にします。
- ・清掃は、話をせず、反省会は挨拶のみとします。

## ⑤休み時間

- 他の教室に出入りはしません。
- できるだけ、グラウンドで遊びます。3密にならないように割り当てを決めています。

## ⑥その他

- 放課後、ドアノブや机椅子、トイレ、子供がよくさわるところ、照明のスイッチ、学校所有の学習用具・楽器等は、教職員が分担して消毒を行います。
- 調理実習などの会食・3密になる体育の運動領域（7月まで体づくり重点）、合唱等は避けます。
- 熱中症予防のための水筒、替えのハンカチやタオル、マスクをお子さんに持参させてください。

保護者の皆様へ

# 新型コロナウイルス感染症対策

## ～「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組～

新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、お子様が安心・安全な学校生活を送ることが出来るよう、ご家庭においても「新しい生活様式」を踏まえた取組にご協力をお願いします。

### 1 毎日の健康観察

- 毎日、登校前にお子様の健康観察（発熱や風邪症状の有無の確認）を必ず行う。
- 発熱等の症状がある場合は、自宅で休養させる。
- 感染がまん延している地域は、学校からの依頼に基づき、同居のご家族に発熱等の風邪症状がみられる場合には、登校を控える。



### 2 手洗いの励行

- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。（手指消毒薬の使用も可）



### 3 咳エチケットの徹底

- 咳、くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる。



### 4 3密の回避（密閉、密集、密接）

人と集まる時や外出する際は、次のことに気を付けてください。

#### ○「密閉」の回避

##### こまめな換気

気候上可能な限り常時行い、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行う。

#### ○ [密集]の回避

##### 身体的距離の確保

飛沫感染を防ぐため、できるだけ人と人との距離を確保すること。

#### ○「密接」の回避

##### マスクの着用

外出する時は、できるだけマスクを着用する。ただし、気温や湿度が高く、気分が悪い場合や、熱中症になりそうな場合には、マスクを外す。室内でも家族以外の人と交流する際はマスクを着用する。

#### 正しいマスクの着用



### 5 抵抗力を高める

免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。



★ 学校生活の中でいかに感染防止を徹底しても、仲の良い友人同士の家間での行き来や家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動が出来なくなってしまうことがあります。特に会食の際には、対面を避けるなど、「新しい生活様式」を参考にして工夫していただき、感染が広がらないようにご配慮をお願いします。